



GEOLOGICAL MAP OF ASIA AND THE FAR EAST

SECOND EDITION (REVISED, 1971)
With Explanatory Brochure

SCALE 1: 5,000,000

この地質図および説明書の初版は 1959年にエカフエから発行されたが このたび改訂第2版の地質図がわが国の印刷会社で印刷されたので その概要をお知らせする。 経済開発ならびに地球科学の基礎資料となる地質図は世界各国ともその作成に力を注いでおり それぞれの事情により自国の技術 あるいは先進国の協力により全国的あるいは地域的なもの 種々の縮尺ならびに精度のものが印刷発行されている。 しかしながら それらは縮尺 地質分類などが多種多様にわたり 数カ国をまとめて巨視的な観点にたった地質現象を考察するためにはまことに不便である。 これらの不便を取り除くために数カ国にまたがり大陸を総合した地質図が要求され ユネスコおよび世界地質図委員会などが各国の協力をえて総合地質図を作る計画を推進してきた。 これらの例としては 500万分の1アフリカ地質図(1963年発行7枚1組) 150万分の1欧州地質図(1965年以来順次発行49枚の内3分の1弱出版済み) および500万分の1アジア・極東地域地質図(1959年第1版発行)などがみられる。

アジア・極東地域については エカフエ(国際連合の組織の1つで アジア極東経済委員会の略称)に属する

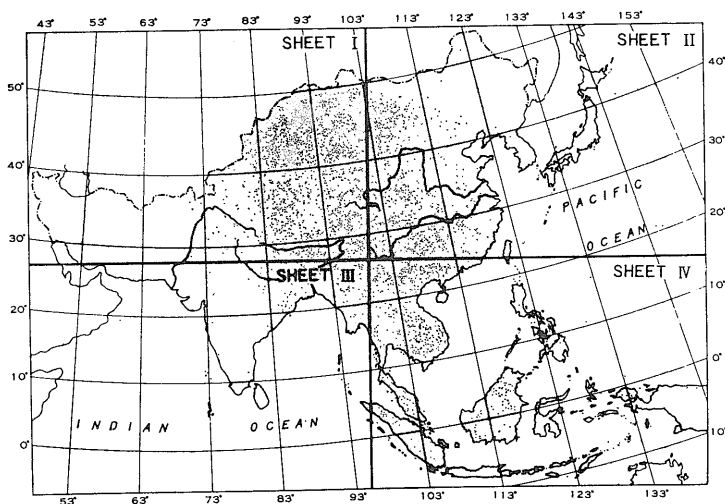
アジアおよび 極東地域地質図

海外地質調査協力室

地質専門家作業部会が域内国を取りまとめた総合地質図作成の決議を行ない 域内国の協力のもとに第1版が作成された。 第2版の改訂版も第1版と同様の手続がふまれて インドの地質調査所が取りまとめの責任者になり作成された。 改訂版作成のための資料は 域内国の地質調査所ならびにこれに類似の機関から それぞれの国の地質図ならびに説明書が提出され あわせてエカフエ事務局天然資源部鉱物資源開発課の資料なども付け加えられて インド地質調査所で原図が作成され エカフエ事務局ならびに日本地質調査所の印刷校訂により印刷された。 なおこの地質図の出版についてはユネスコとエカフエの協同で行なわれた。

改訂第2版は たて68.5cm よこ96.5cmの4図面に分割され 含まれている地域は位置図にみられるように 東はニューギニア島西半部 西はイラン 北は中華人民共和国 南はスダラ列島までである。 使用された地図は陸地ではおもなる河川 都市および鉄道 起伏については海底のみに1,000m毎の等深線が記入されている。 地質凡例は約70種類に分類され 第1版より約20種類多くそれだけ詳細に分類表現されている。 第1版と異なるおもなる点は まず第1に全体として表現が詳細になり 紙質が白く 刷色が鮮明に仕上がっており 断層の記入により地質構造が読みやすくなったことなどである。 地質凡例のなかでは 古第三系が統まで細分され表現されている地域があり それぞれの界も第1版よりやや詳しく分類されている。 火成岩については 火山岩類が侵入岩類と同様に岩質ごとにそれぞれ時代別に分類されている。 この地質図の入手については 近く説明書が刷り上げれば 一般に12.50ドルで発売になる予定で 問合わせ先は 下記のところである。

**ECAFE Secretariat, Bangkok,
THAILAND**



位置図